

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が26例(男性7例(10歳代2例, 20歳代1例, 30歳代2例, 70歳代1例, 90歳代1例), 女性19例(20歳代1例, 30歳代1例, 40歳代1例, 50歳代3例, 60歳代1例, 80歳代2例, 90歳代10例))あり, 本年の累積報告数は21,134例になりました。

本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。

○新型コロナウイルス感染症 最新の動向

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(40歳代男性)あり, 本年の累積報告数は34例となりました。

発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。

○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>

- E型肝炎の本市では本年初めてとなる報告が1例(70歳代男性)あり, 症状は発熱, 全身倦怠感, 黄疸, 肝機能異常です。感染地域, 感染経路は不明です。

本市において, 平成28年は1例, 平成29年は1例, 平成30年は2例, 昨年は2例の報告がありました。本疾患の届出基準や届出に必要な要件等については, 下記のホームページを御覧ください。

○厚生労働省ホームページ「E型肝炎」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-01.html>

- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(60歳代男性)ありました。症状は発熱, 咳嗽, 肺炎で, 感染地域は国内, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は19例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が3例(80歳代男性1例(第42週追加報告分), 70歳代及び80歳代男性各1例)ありました。本年の累積報告数は38例となりました。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(70歳代男性)あり, 症状は発熱, 菌血症です。本年の累積報告数は2例となりました。
- 梅毒の報告が1例(70歳代女性1例)ありました。本年の累積報告数は59例となりました。

◆ 今週のトピックス: <E型肝炎>

京都市でE型肝炎の報告が1例ありました。京都市内の報告は, 1999年4月から2021年第46週までで14例あります。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 新型コロナウイルス感染症 26例【1月以降の累積報告数21,134例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 34例】
- 四類: E型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 四類: レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 19例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症3例【1月以降の累積報告数 38例】
- 五類: 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 59例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.35	144
	② 手足口病	2.65	114
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.37	16
	③ ヘルパンギーナ	0.37	16
	⑤ 突発性発しん	0.19	8
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

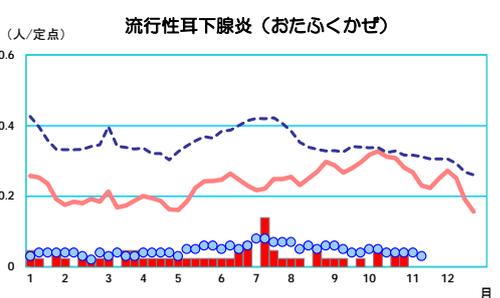
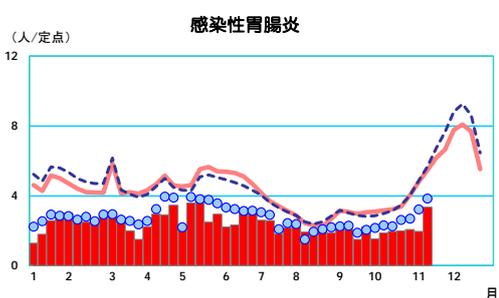
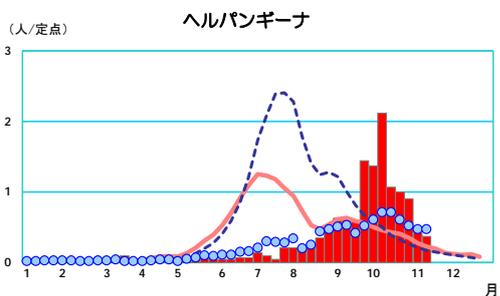
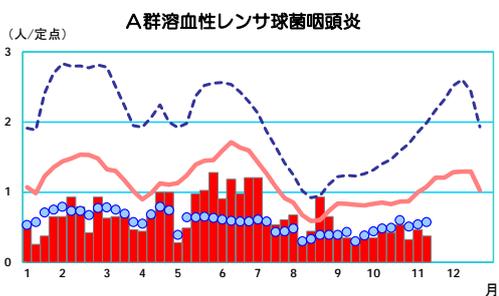
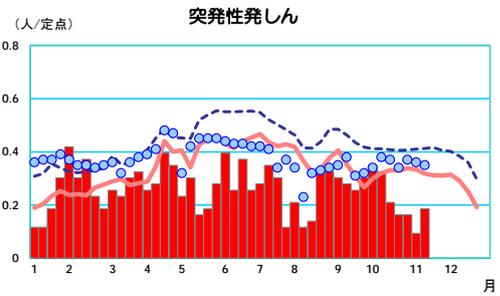
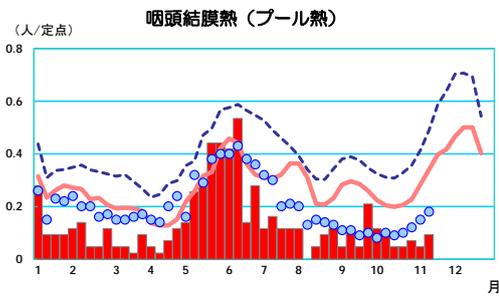
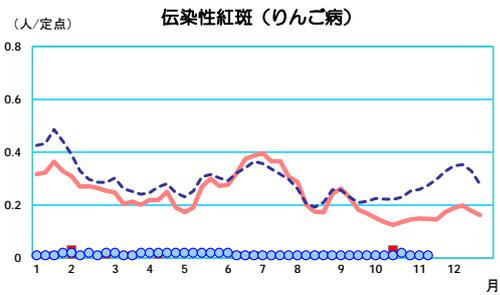
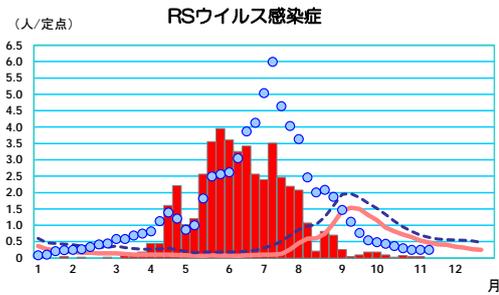
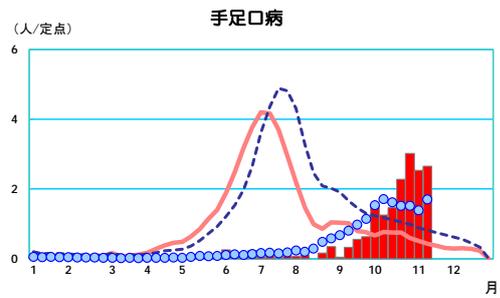
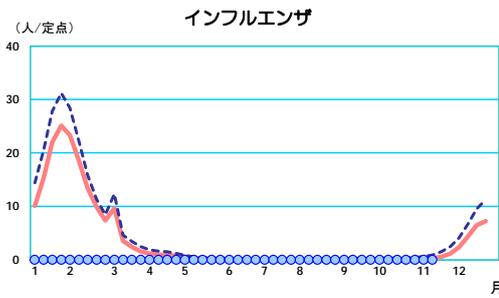
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <E型肝炎>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

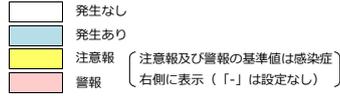
(注) 京都市のデータは, 2021年11月24日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

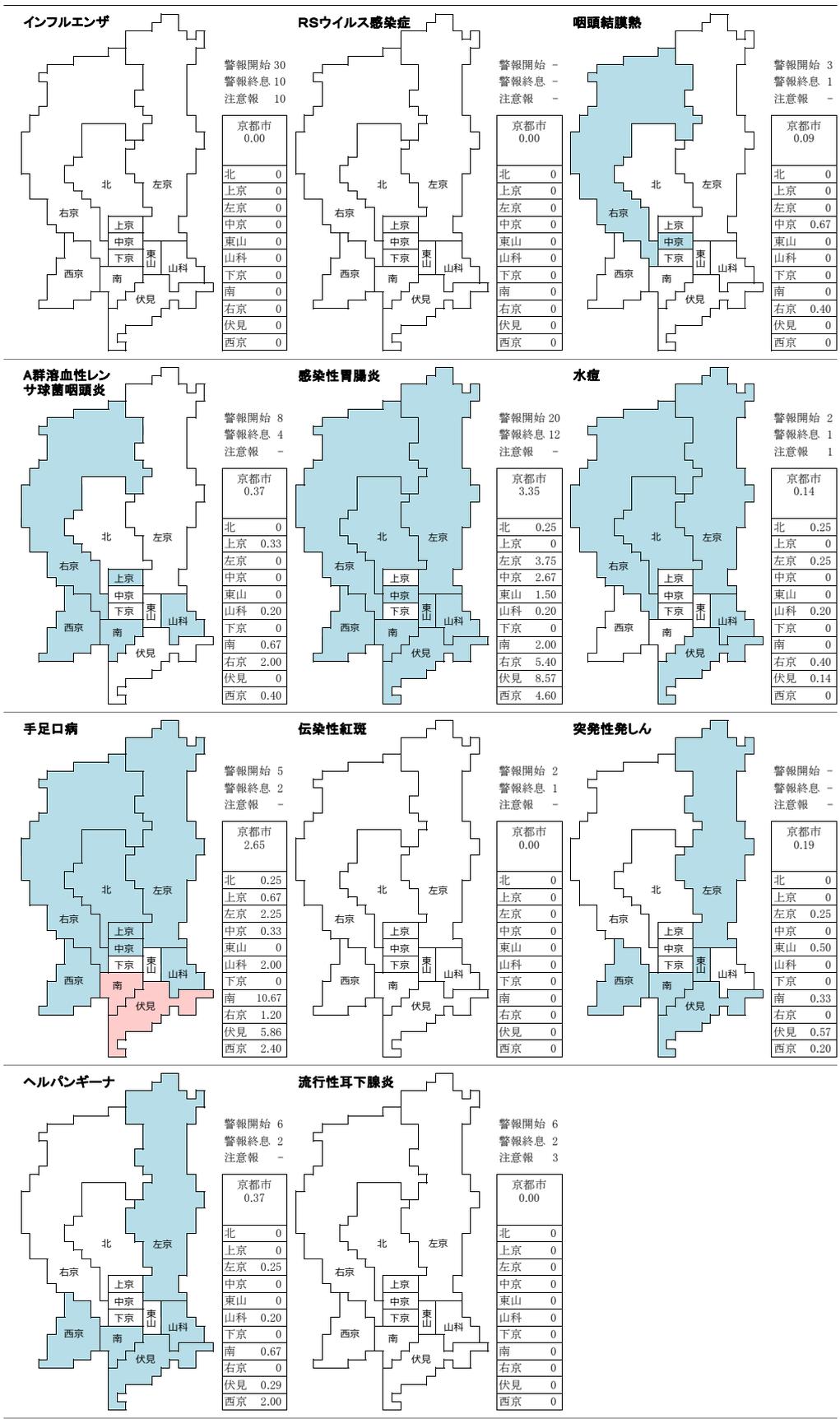
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年第46週】



定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の立地条件や
 規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第46週(11月15日～11月21日)トピックス: <E型肝炎>

京都市でE型肝炎の報告が1例ありました。本年初めての報告で、推定感染地域、感染経路ともに不明です。E型肝炎は、1999年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく全数把握の四類感染症として届出が義務づけられました。京都市内の報告は、1999年4月から2021年第46週までで14例あります(表1)。

全国の過去15年(2006年以降)の報告数推移をみると、2011年までは50例前後の横ばいで推移していましたが、2012年から増加傾向となり、2019年には493例に達しました。昨年は454例でやや減少したものの、本年は第46週までで383例の報告があり、現時点では昨年と同程度(昨年同時期は388例)の発生状況です(図1)。新型コロナウイルス感染症の流行下で発生動向が大きく変化した感染症もある中でE型肝炎の発生状況はさほど変化していません。

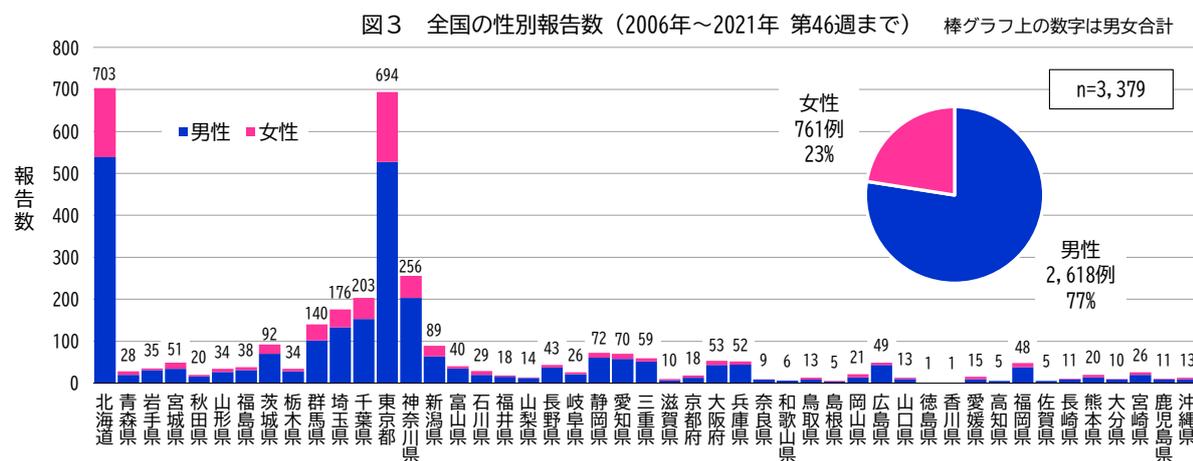
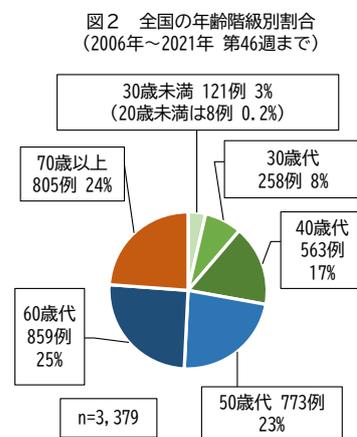
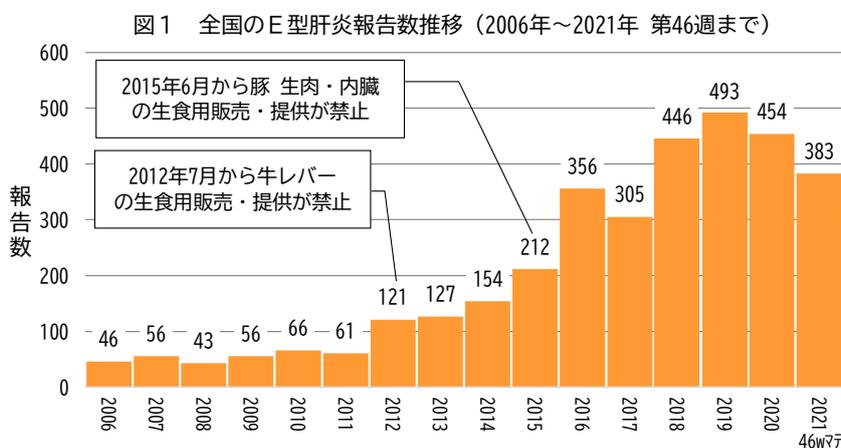
全国の報告数は2006年から本年第46週までで3,379例あります。この内訳を年齢階級別でみると、50歳未満は各年代を合わせて28%(うち20歳未満はわずか0.2%)で、50歳代、60歳代、70歳以上がそれぞれ1/4程度ずつを占め、比較的高い年齢層での報告が多くなっています(図2)。都道府県別では、北海道及び東京都とその周辺が多く、近畿地方では大阪府と兵庫県からの報告がやや多く見られます(図3)。また、性別では全ての都道府県で男性が多く、全国では男性77%に対して女性23%と、男性が圧倒的に多くを占めています(図3)。

本疾患はE型肝炎ウイルスの感染によって引き起こされる急性肝炎(まれに慢性肝炎)です。感染経路は途上国等では感染者の糞便中に排泄されたウイルスによる経口感染が主となっていますが、国内では豚、イノシシ、シカ等の肉や内臓の生食あるいは加熱不十分な状態での喫食によるものが約半数で、動物由来感染症として注目されています。2012年7月に腸管出血性大腸菌O157等による重い食中毒の発生を防ぐため、牛レバーの生食用の販売及び提供が禁止されました。それ以降、豚レバーを生食用として提供する飲食店等があらわれました。豚レバーの生食は、E型肝炎以外にも、サルモネラ属菌やカンピロバクター等の食中毒のリスクがあることから、2015年6月には豚の生肉と内臓も生食用として販売及び提供が禁止されました。過去の発生動向を見ると、こうした規制後に報告数が増加しています(図1)。レバーなどの内臓やシカ・イノシシ等の肉を食べる際には、中心部まで火が通るよう十分加熱することが重要です。詳細については、以下のホームページを御覧ください。

- E型肝炎とは(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/319-hepatitis-e-intro.html>
- E型肝炎ウイルスの感染事例・E型肝炎Q&A(厚生労働省)
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/08/h0819-2a.html>

表1 京都市内における感染例(1999年4月～2021年第46週まで) ※感染地域・経路は推定含む

診断年	2000	2006	2006	2008	2014	2016	2017	2018	2018	2019	2019	2020	2020	2021
年代	20代	40代	70代	60代	30代	40代	80代	70代	70代	40代	50代	60代	70代	70代
性別	男	男	男	女	女	男	男	男	男	男	男	男	男	男
感染地域*	海外 (インド)	海外 (中国)	国内	海外 (中国)	海外 (フランス)	国内	国内	国内	国内	国内	国内	不明	不明	不明
感染経路*	経口	不明	不明	経口	経口	経口	不明	経口	不明	不明	経口	不明	不明	不明



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第46週

疾病,行政区別報告数

2021年11月15日～2021年11月21日

データ入手日:2021年11月24日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-						
上京	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	-	15	1	9	-	1	1	-	-	-						
中京	-	-	2	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-						
山科	-	-	-	1	1	1	10	-	-	1	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	2	6	-	32	-	1	2	-	-	-						
右京	-	-	2	10	27	2	6	-	-	-	-	-	-						
伏見	-	-	-	-	60	1	41	-	4	2	-	-	-						
西京	-	-	-	2	23	-	12	-	1	10	-	-	-						
京都市計	-	-	4	16	144	6	114	-	8	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	-	-	-	-	0.25	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-						
上京	-	-	-	0.33	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	-	3.75	0.25	2.25	-	0.25	0.25	-	-	-						
中京	-	-	0.67	-	2.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	1.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-						
山科	-	-	-	0.20	0.20	0.20	2.00	-	-	0.20	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	0.67	2.00	-	10.67	-	0.33	0.67	-	-	-						
右京	-	-	0.40	2.00	5.40	0.40	1.20	-	-	-	-	-	-						
伏見	-	-	-	-	8.57	0.14	5.86	-	0.57	0.29	-	-	-						
西京	-	-	-	0.40	4.60	-	2.40	-	0.20	2.00	-	-	-						
京都市計	-	-	0.09	0.37	3.35	0.14	2.65	-	0.19	0.37	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第46週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年11月15日～2021年11月21日

データ入手日:2021年11月24日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		4	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		16	-	-	-	2	2	4	-	4	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		144	2	10	28	23	20	14	11	6	8	3	2	7	2	8	-	-	-	-	-	-	-
水痘		6	-	-	-	2	1	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		114	-	16	45	43	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		8	-	1	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		16	-	-	5	3	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.09	-	-	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.37	-	-	-	0.05	0.05	0.09	-	0.09	0.02	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		3.35	0.05	0.23	0.65	0.53	0.47	0.33	0.26	0.14	0.19	0.07	0.05	0.16	0.05	0.19	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.14	-	-	-	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		2.65	-	0.37	1.05	1.00	0.09	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.19	-	0.02	0.14	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.37	-	-	0.12	0.07	0.14	-	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第46週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年11月24日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	-	1	-	1	-	-
RSウイルス感染症	4	1	3	2	2	-
咽頭結膜熱	4	2	2	3	2	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	18	23	14	20	16
感染性胃腸炎	80	84	86	89	84	144
水痘	-	3	2	4	3	6
手足口病	54	63	98	130	109	114
伝染性紅斑	-	2	-	-	-	-
突発性発しん	14	9	7	7	4	8
ヘルパンギーナ	91	46	43	39	18	16
流行性耳下腺炎	2	-	2	2	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	1	3	-	-	-
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	270	230	269	291	242	308

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	-	0.01	-	0.01	-	-
RSウイルス感染症	0.09	0.02	0.07	0.05	0.05	-
咽頭結膜熱	0.09	0.05	0.05	0.07	0.05	0.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.44	0.42	0.53	0.33	0.47	0.37
感染性胃腸炎	1.86	1.95	2.00	2.07	1.95	3.35
水痘	-	0.07	0.05	0.09	0.07	0.14
手足口病	1.26	1.47	2.28	3.02	2.53	2.65
伝染性紅斑	-	0.05	-	-	-	-
突発性発しん	0.33	0.21	0.16	0.16	0.09	0.19
ヘルパンギーナ	2.12	1.07	1.00	0.91	0.42	0.37
流行性耳下腺炎	0.05	-	0.05	0.05	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.10	0.30	-	-	-
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	6.43	5.42	6.49	6.76	5.63	7.16

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。